



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月9日

上場会社名 古河機械金属株式会社 上場取引所 東
コード番号 5715 URL <https://www.furukawakk.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）中戸川 稔
問合せ先責任者 （役職名）執行役員経理部長 （氏名）田近 強 TEL 03-6636-9502
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	149,974	2.6	7,613	18.3	9,761	53.1	9,661	△29.2
2025年3月期第3四半期	146,199	2.9	6,435	△3.5	6,377	△22.3	13,653	△7.5

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 13,863百万円（225.0％） 2025年3月期第3四半期 4,265百万円（△78.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	288.62	—
2025年3月期第3四半期	372.30	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	272,197	138,164	49.7
2025年3月期	257,107	133,572	50.9

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 135,296百万円 2025年3月期 130,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2026年3月期	—	30.00	—		
2026年3月期（予想）				50.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2026年2月9日）公表いたしました「2026年3月期 通期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	206,200	2.5	9,000	△7.8	10,900	12.3	11,000	△40.9	337.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更:無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 :無

② ①以外の会計方針の変更 :無

③ 会計上の見積りの変更 :無

④ 修正再表示 :無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	36,445,568株	2025年3月期	36,445,568株
2026年3月期3Q	3,815,570株	2025年3月期	1,055,825株
2026年3月期3Q	33,474,143株	2025年3月期3Q	36,673,174株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
2026年3月期 第3四半期決算短信 補足資料	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	146,199	149,974	3,774
営業利益（百万円）	6,435	7,613	1,177
経常利益（百万円）	6,377	9,761	3,384
親会社株主に帰属する四半期純利益（百万円）	13,653	9,661	△3,992

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から同年12月31日まで）の我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の通商政策の影響を受け、製造業を中心に企業収益の改善には足踏みがみられました。また、ウクライナや中東地域をはじめとする国際情勢は引き続き不安定な状況にあり、地政学的リスクの高まりを背景に、事業環境の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,499億74百万円（対前年同期37億74百万円増）、営業利益は、76億13百万円（対前年同期11億77百万円増）となりました。産業機械部門は減収増益、ロックドリル部門およびユニック部門は減収減益となり、機械事業全体では、減収減益となりました。素材事業は、金属部門、電子部門、化成品部門ともに増収増益となりました。また、不動産事業は増収増益となりました。営業外収益に持分法による投資利益24億40百万円ほかを計上した結果、経常利益は、97億61百万円（対前年同期33億84百万円増）となりました。特別利益に、政策保有株式の一部売却を主とする投資有価証券売却益41億74百万円ほかを計上し、税金費用40億92百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、96億61百万円（対前年同期39億92百万円減）となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

〔産業機械〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	14,882	13,694	△1,188
営業利益（百万円）	568	934	365

産業機械部門の売上高は、136億94百万円（対前年同期11億88百万円減）、営業利益は、9億34百万円（対前年同期3億65百万円増）となりました。売上高については、コントラクタ事業は、橋梁の売上げの減少などにより、また、マテリアル機械は、砕石プラントの売上げの減少などにより、それぞれ減収となりました。営業利益については、これらの減収要因はあったものの、利益率の改善、および前年同期に発生したマテリアル機械におけるプラント工事の遅延等に伴う追加原価の減少などにより、増益となりました。

〔ロックドリル〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	26,129	26,016	△113
営業利益（百万円）	2,218	1,856	△362

ロックドリル部門の売上高は、260億16百万円（対前年同期1億13百万円減）、営業利益は、18億56百万円（対前年同期3億62百万円減）となりました。国内については、油圧クローラドリルの出荷減、整備事業の売上げの減少などにより、減収となりました。海外については、北米向けの油圧ブレーカおよびアフリカ向けの油圧クローラドリルの出荷増などにより、増収となりました。

〔ユニック〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	21,879	21,522	△356
営業利益（百万円）	882	698	△184

ユニック部門の売上高は、215億22百万円（対前年同期3億56百万円減）、営業利益は、6億98百万円（対前年同期1億84百万円減）となりました。国内については、ユニッククレーンの出荷減により、減収となりました。海外については、アジア向けのミニ・クローラクレーンの出荷増により、増収となりました。

《機械事業合計》

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	62,891	61,233	△1,658
営業利益（百万円）	3,670	3,489	△180

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械事業の合計売上高は、612億33百万円（対前年同期16億58百万円減）、営業利益は、34億89百万円（対前年同期1億80百万円減）となりました。

〔金 属〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	66,501	71,310	4,809
営業利益（百万円）	1,716	2,949	1,232

金属部門の売上高は、713億10百万円（対前年同期48億9百万円増）、営業利益は、29億49百万円（対前年同期12億32百万円増）となりました。電気銅の海外相場は、9,652.00米ドル/トンで始まり、米中貿易摩擦による需要減退の懸念により、一時下落しましたが、その後はドル安を主因として上昇基調となり、地政学的リスクや米国の通商政策の影響などによる上げ下げはありましたが、8～9月のチリおよびインドネシアの銅鉱山で発生した事故による供給懸念から上昇し、期末には12,504.00米ドル/トンとなりました。電気銅は、生産量が33,503トン（対前年同期662トン減）となり、販売数量は前年同期並みで、海外相場の上昇により増収となったものの、委託損益の悪化により減益となりました。一方、電気金は、販売数量は減少したものの、海外相場の上昇により増収増益となりました。

〔電 子〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	4,785	4,941	156
営業利益（百万円）	41	175	134

電子部門の売上高は、49億41百万円（対前年同期1億56百万円増）、営業利益は、1億75百万円（対前年同期1億34百万円増）となりました。高純度金属ヒ素は、国内向け販売単価の上昇により、また、窒化アルミセラミックスは、半導体製造装置向け部品の需要が回復し、増収となりました。

〔化成品〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	7,372	7,785	412
営業利益（百万円）	480	577	97

化成品部門の売上高は、77億85百万円（対前年同期4億12百万円増）、営業利益は、5億77百万円（対前年同期97百万円増）となりました。酸化銅は、AIサーバー市場を中心としたパッケージ基板向け需要の回復により、販売数量が増加し、増収となりました。亜酸化銅は、主要用途である船底塗料の一部顧客が生産調整を行った影響で、販売数量は減少したものの、銅価の上昇と価格改定などにより販売単価が上昇し、増収となりました。

《素材事業合計》

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	78,659	84,037	5,378
営業利益（百万円）	2,238	3,702	1,463

金属、電子および化成品の素材事業の合計売上高は、840億37百万円（対前年同期53億78百万円増）、営業利益は、37億2百万円（対前年同期14億63百万円増）となりました。

〔不動産〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	1,540	1,640	99
営業利益（百万円）	546	549	2

不動産事業の売上高は、16億40百万円（対前年同期99百万円増）、営業利益は、5億49百万円（対前年同期2百万円増）となりました。主力ビルである室町古河三井ビルディング（商業施設名：COREDO室町2）は、オフィスの空室率改善により、増収となりました。

〔その他〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	3,108	3,063	△44
営業利益（百万円）	30	35	4

金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を行っております。売上高は、30億63百万円（対前年同期44百万円減）、営業利益は、35百万円（対前年同期4百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第3四半期連結会計期間末	対前連結会計年度末増△減
総資産（百万円）	257,107	272,197	15,089
負債（百万円）	123,534	134,032	10,497
（うち有利子負債 （百万円））	56,034	60,146	4,112
純資産（百万円）	133,572	138,164	4,591
自己資本比率（%）	50.9	49.7	△1.2

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、2,721億97百万円で、前連結会計年度末に比べ150億89百万円増加しました。これは主として、現金及び預金、産業機械部門を中心に受取手形、売掛金及び契約資産が減少したこと、一方で、原材料及び貯蔵品、上場株式の株価上昇および関係会社株式の取得により、投資有価証券が増加したことによるものです。有利子負債は、601億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億12百万円増加しました。純資産は、1,381億64百万円で、前連結会計年度末に比べ45億91百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回（2025年11月7日）発表の業績予想と比較し、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正しております。

売上高および営業利益については、全体として前回予想を上回る見込みです。産業機械部門では、大型プロジェクト案件の売上計上が翌期へずれ込む見通しであり、売上高・利益ともに前回予想を下回る見込みです。電子部門においても、窒化アルミセラミックスの販売が計画を下回って推移していることから、同様に前回予想を下回る見込みです。一方、ロックドリル部門では、欧州向けの油圧ブレーカの出荷増および円安の影響により増収を見込んでおりますが、製品不具合対策費用の発生を見込んでいることから、利益については前回予想から修正しておりません。また、金属部門については、海外相場の上昇を受け、売上高・利益ともに前回予想を上回る見込みです。

経常利益については、営業利益の上方修正に加え、為替差益の発生等を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益については、政策保有株式の追加売却による投資有価証券売却益の発生等を見込んでおります。

また、配当については、業績予想を上方修正したことに伴い、期末配当予想を前回予想から10円増配の1株当たり50円へ修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,846	20,349
受取手形、売掛金及び契約資産	33,621	29,766
商品及び製品	22,387	21,773
仕掛品	12,518	12,010
原材料及び貯蔵品	15,898	24,470
その他	7,510	11,639
貸倒引当金	△24	△15
流動資産合計	116,759	119,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,121	25,119
土地	52,553	52,512
その他（純額）	16,121	17,713
有形固定資産合計	94,796	95,344
無形固定資産	329	295
投資その他の資産		
投資有価証券	19,903	31,086
その他	26,846	27,113
貸倒引当金	△1,528	△1,637
投資その他の資産合計	45,221	56,562
固定資産合計	140,347	152,202
資産合計	257,107	272,197

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,982	16,216
電子記録債務	7,296	5,356
短期借入金	4,306	13,515
未払法人税等	5,675	1,925
引当金	431	859
その他	21,421	26,612
流動負債合計	53,114	64,485
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	46,728	41,631
引当金	1,625	1,386
退職給付に係る負債	995	1,021
資産除去債務	239	243
その他	15,831	20,264
固定負債合計	70,420	69,546
負債合計	123,534	134,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
資本剰余金	2	17
利益剰余金	82,385	89,639
自己株式	△1,940	△8,805
株主資本合計	108,655	109,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,237	13,460
繰延ヘッジ損益	293	142
土地再評価差額金	2,512	2,506
為替換算調整勘定	3,861	3,194
退職給付に係る調整累計額	7,248	6,931
その他の包括利益累計額合計	22,154	26,236
非支配株主持分	2,763	2,868
純資産合計	133,572	138,164
負債純資産合計	257,107	272,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年12月31日)
売上高	146,199	149,974
売上原価	125,060	126,841
売上総利益	21,139	23,133
販売費及び一般管理費	14,703	15,519
営業利益	6,435	7,613
営業外収益		
持分法による投資利益	196	2,440
その他	1,257	1,541
営業外収益合計	1,454	3,982
営業外費用		
支払利息	405	417
休鉱山管理費	703	650
自己株式取得費用	0	414
その他	403	352
営業外費用合計	1,512	1,834
経常利益	6,377	9,761
特別利益		
投資有価証券売却益	12,307	4,174
その他	192	24
特別利益合計	12,499	4,198
特別損失		
固定資産除売却損	76	58
その他	90	12
特別損失合計	167	70
税金等調整前四半期純利益	18,709	13,889
法人税、住民税及び事業税	5,262	2,430
法人税等調整額	△352	1,662
法人税等合計	4,909	4,092
四半期純利益	13,799	9,797
非支配株主に帰属する四半期純利益	145	135
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,653	9,661

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	13,799	9,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,328	5,208
繰延ヘッジ損益	△274	△150
為替換算調整勘定	367	△694
退職給付に係る調整額	△298	△317
持分法適用会社に対する持分相当額	—	19
その他の包括利益合計	△9,533	4,066
四半期包括利益	4,265	13,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,074	13,749
非支配株主に係る四半期包括利益	190	114

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	3,584百万円	3,767百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	14,882	26,129	21,879	66,501	4,785	7,372
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,456	11	208	177	—	43
計	17,339	26,141	22,088	66,679	4,785	7,415
セグメント利益又は損失 (△)	568	2,218	882	1,716	41	480

(単位: 百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,540	143,091	3,108	146,199	—	146,199
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	2,904	1,622	4,526	△4,526	—
計	1,546	145,995	4,730	150,726	△4,526	146,199
セグメント利益又は損失 (△)	546	6,455	30	6,485	△50	6,435

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△50百万円には、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△83百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位: 百万円)

	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品	不動産
減損損失	—	63	—	—	—	—	7

	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	10	81

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	13,694	26,016	21,522	71,310	4,941	7,785
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,489	11	271	189	0	45
計	16,184	26,027	21,794	71,500	4,941	7,830
セグメント利益又は損失 (△)	934	1,856	698	2,949	175	577

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,640	146,911	3,063	149,974	—	149,974
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	3,012	1,709	4,722	△4,722	—
計	1,645	149,924	4,772	154,696	△4,722	149,974
セグメント利益又は損失 (△)	549	7,741	35	7,776	△163	7,613

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△163百万円には、セグメント間取引消去27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△190百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない株式取得関連費用及び「金属鉱山跡資産」・「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	産業機械	ロック ドリル	ユニック	金属	電子	化成品	不動産
減損損失	—	2	—	—	—	—	0

	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	6	9

2026年3月期 第3四半期決算短信 補足資料

2026年2月9日
古河機械金属株式会社

【売上高】

(単位：百万円 単位未満切捨て)

	2025年3月期 第3四半期 累計期間	2026年3月期 第3四半期 累計期間	対前年同期増減
機械事業	62,891	61,233	△1,658
産業機械部門	14,882	13,694	△1,188
ロックドリル部門	26,129	26,016	△113
ユニック部門	21,879	21,522	△356
素材事業	78,659	84,037	5,378
金属部門	66,501	71,310	4,809
電子部門	4,785	4,941	156
化成品部門	7,372	7,785	412
不動産事業	1,540	1,640	99
その他	3,108	3,063	△44
【合計】	146,199	149,974	3,774

2026年3月期		
前回発表	年度予想	対前年増減
83,200	83,000	△3,301
19,400	18,100	△4,113
34,900	36,000	996
28,900	28,900	△184
107,800	117,000	8,242
90,300	99,800	7,415
7,100	6,800	254
10,400	10,400	572
2,100	2,100	28
4,400	4,100	14
197,500	206,200	4,983

【営業利益】

	2025年3月期 第3四半期 累計期間	2026年3月期 第3四半期 累計期間	対前年同期増減
機械事業	3,670	3,489	△180
産業機械部門	568	934	365
ロックドリル部門	2,218	1,856	△362
ユニック部門	882	698	△184
素材事業	2,238	3,702	1,463
金属部門	1,716	2,949	1,232
電子部門	41	175	134
化成品部門	480	577	97
不動産事業	546	549	2
その他	30	35	4
(計)	6,485	7,776	1,290
調整額	△50	△163	△112
【合計】	6,435	7,613	1,177

2026年3月期		
前回発表	年度予想	対前年増減
5,500	5,300	△680
1,700	1,500	△706
2,900	2,900	104
900	900	△77
1,900	3,200	30
700	2,100	△318
500	400	274
700	700	74
700	700	13
0	0	△15
8,100	9,200	△652
△100	△200	△110
8,000	9,000	△763

【為替・銅価】

	2025年3月期 第3四半期 累計期間	2026年3月期 第3四半期 累計期間	対前年同期増減
為替 円/\$	152.6	148.7	△3.8
銅価 \$/mt	9,378	10,137	759

2026年3月期		
前回発表	年度予想	対前年増減
148.0	150.3	△2.3
9,744	10,603	1,233

※参考情報（以下の数値は参考値です）

1. 産業機械部門受注残

産業機械については主に受注生産を行っており、当第3四半期会計期間末における受注残を示すと、次のとおりです。

	2025年3月期 第3四半期 会計期間末	2026年3月期 第3四半期 会計期間末	対前年同期増減
受注残	120億円	80億円	△39億円

2. 金属部門の金属価格変動影響による損益について

	2025年3月期 第3四半期 累計期間	2026年3月期 第3四半期 累計期間	対前年同期増減
営業利益	17.1億円	29.4億円	12.3億円
内価格影響分	13.8億円	33.1億円	19.3億円
銅	(4.0億円)	(13.3億円)	(9.3億円)
金	(8.9億円)	(16.6億円)	(7.7億円)